

平成 30 年度 第 1 回全国健康保険協会愛知支部評議会議事録

日 時：平成 30 年 6 月 5 日（火）10：00～12：00

場 所：全国健康保険協会愛知支部 第一会議室

出席者：天木評議員、金原評議員、後藤澄江評議員（議長）、後藤治彦評議員、後藤雅文評議員、高橋評議員、永池評議員、早川評議員、林評議員（五十音順）

事務局側出席者：芦田支部長、深沢企画総務部長、小野寺業務第一部長、柴田業務第二部長
長谷川企画総務グループ長、井上グループ長補佐、中村主任、鈴木主任、土田主任

1. 前回議事録の確認

- ・前回議事録について承認された。

2. 平成 29 年度 事業実施結果の報告

【事業主代表】

- ・18 ページの「特定健診の受診拡大」の中で 51 市町村と締結とあるが、今後の予定はどうか。

（回答）

大口町、扶桑町、豊山町の 3 町がまだ締結していない。これまで協定締結した市町村と取り組んできた成果をもっとアピールし、早期に締結を目指したい。

【被保険者代表】

- ・1 ページの標準報酬月額全国平均を教えてほしい。

（回答）

287,205 円である（H30 年 1 月時点）。愛知は平均より高い。

【被保険者代表】

- ・平成 26 年と比較して被保険者数が約 188,000 人増加、事業所数が約 25,000 社増加ということで、単純に計算して、これは 10 名未満の事業所が増加したという理解で良いか。

（回答）

協会けんぽの加入事業所のうち 8 割くらいが 10 名未満の事業所であり、適用拡大の対象となるのも同様の小規模事業所が多いと思われる。

【被保険者代表】

- ・9 ページの「健康保険委員の委嘱拡大」で平成 29 年 3 月から比較して平成 30 年度は 2,000 人弱増加しているが、これは被保険者の増加も関連しているのか。

(回答)

新規に適用された事業所も含め、まだ健康保険委員を委嘱していない事業所にメリットをアピールするなど根気強くアプローチをした成果だと思う。

【被保険者代表】

・18 ページの「協定市町村との特定健診・がん検診の共同実施」とは具体的にどのような内容か。

(回答)

受診券の送付や未受診勧奨を行う際に、市町村が作成したがん検診の案内チラシやがん検診が受診できる医療機関一覧を同封して送付する方法で実施している。

【被保険者代表】

・「健康イベントの啓発ブース出展」は土日に実施されると思うが、職員が土日出勤をするこ
とで労務に無理は生じていないか。

(回答)

出勤した職員は代休対応し、職員の出勤を最小限にするべく外部委託を取り入れるなど職員の健康管理にも配慮し、法や規則に従った労務管理を行っている。

【学識経験者】

・新聞記事で協会けんぽが発表した職業別ジェネリックの使用割合で、医療従事者の使用率が低いというデータを見た。この状況を変える方法はあるのか。

(回答)

医療従事者の使用率が低い理由は様々考えられる。世論の動きも必要だと思うが、協会けんぽとしても粘り強く働きかけをしていく必要があると思っている。

【学識経験者】

・「協定市町村との連携」において、協定締結の際には、事前に自治体のどの部署の担当者と調整を図るのか。

(回答)

保健センターや健康推進課との調整がメインとなる。

【事業主代表】

・6 ページの「健康宣言事業所へのサポート」に関して、金利優遇サービスを実施している取引先の銀行で試しに内容を聞いてみたら、支店長や担当者が知らなかった。もっと銀行の担当者を活用し、健康宣言事業所への働きかけを行うことはできないか。

(回答)

愛知銀行、中京銀行、名古屋銀行の営業の方々に説明する場を設けてほしいとお願いしてい

るが、まだ実現していない。また、金利優遇サービスが様々存在し、商品の整理も難しくなっているようである。この点から、名古屋銀行では 6 月から様々な商品を集約してリニューアルを図り、当協会の金利優遇サービスを P R しやすいようにしていただいた。

【被保険者代表】

- ・外傷点検で、第三者行為と業務上災害のどちらの割合が多いのか。

(回答)

8 対 2 で第三者行為の申請が多い。第三者行為の申請のほとんどが交通事故に関する案件である。

【学識経験者】

- ・お客様満足度調査の数値にこだわる必要はないと思う。それよりも多少でも「不満」と答えた人の内容を把握し、対応していくことが重要だと思う。

(回答)

架電調査は不満が 3%くらい発生しており、この内容を分析して不満を解消したい。そのため、今年度は電話の相手方が何を求めているかを正確に理解し、それに対して誠実に返答できるよう研修も行いながら取り組んでいきたい。

3. 平成 28 年度 協会けんぽ愛知支部の医療費等の状況

【学識経験者】

- ・加入者 1 人当たり入院外医療費が低い沖縄の健康寿命の結果を教えてほしい。

(回答)

厚生労働省がまとめた資料によると平成 22 年、平成 25 年、平成 28 年の平均で沖縄は男性が 12 位、女性が 11 位となっている。

【学識経験者】

- ・日本の平均寿命は世界でもトップクラスで医療水準も非常に高いが、健康寿命との間に差がある。

医療がたくさん提供されているから健康寿命が上がるという訳でもなく、健康になるような医療の提供の仕方と同時に健康づくりが非常に重要になると思われる。

4. その他

次回評議会は平成 30 年 7 月 19 日 (木) 15 : 00-17 : 00 開催